

格パターンによる「～込む」の下位分類

— 韓国人学習者を念頭に置いた試み —

李 忠 奎*

(e-mail : ch4229@hanmail.net)

<目 次>

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. はじめに | 3.2. 考察方法 |
| 2. 先行研究 | 4. 結果と分析 |
| 2.1. 計量調査 | 4.1. 高頻度の「～込む」 |
| 2.2. 概観と問題提起 | 4.2. 「～込む」の韓国語訳の検討 |
| 3. 考察資料と方法 | 4.3. 「～込む」の下位分類 |
| 3.1. 考察資料 | 5. まとめ |

キーワード：込む(*Komu*)，格パターン(Case Pattern)，韓国人学習者(Korean Learners of Japanese)，日本語教育(Japanese Education)，韓国語訳(Korean Correspondence)，複合動詞(Compound Verb)

1. はじめに

日本語の複合動詞に関する先行研究の中で代表的なものの一つに森田(1990)がある。同氏は非母語話者を対象とする複合動詞の指導について以下のように指摘している。

- (1) 初級・中級段階で外国人が学習する動詞の多くは基本語動詞である。単純動詞の意味や用法に習熟しても、複合動詞の理解・習得には結びつかない。複合動詞の体系的な学習を経ずに生きた日本語社会にはいっても、語彙能力の面で支障が多い。中級段階においてぜひとも複合動詞を体系的に学習させておく必要がある。そのためには日本語の複合動詞の実態を形式・意味の両面から正しくとらえ、複合頻度の高い動詞や、原義からでは類推の不可能な、意味にずれを生ずる複

* 西原大学、助教授、韓日対照言語学

合動詞を抽出して、それらを集中的に効率よく教育していくことが望まれる。また、複合動詞としての造語力に富む動詞をピックアップして、その造語力を意味面から分析整理し、体系的に教育していくことは、新しい複合動詞獲得の応用力を身につけさせるのに役立つ、学習者の語彙量をふやすことにもつながる。(森田1990:283)

韓国で日本語の複合動詞研究に携わっている者として、(1)の指摘はまさにその通りだと共感する。造語力に富む前項動詞(V1)・後項動詞(V2)や頻繁に用いられる個別の複合動詞を抽出して、それらについて綿密に考察し、その成果を蓄積していくことは、複合動詞の指導を効率的に行うために重要であり、欠かせない課題であると言える。

そこで、本稿では、語彙的複合動詞の中で造語力の第一位とされる「～込む」を対象にして考察する。具体的には、国立国語研究所(2013)『複合動詞レキシコン』(2018年国際版ver.1.11、<https://db4.ninjal.ac.jp/vvlexicon/>¹⁾、以下『複レキ』)を援用し、格パターンによる下位分類を試みる。「～込む」を対象にした下位分類は、すでに姫野(1999)や李(2010a)などで行われているが、本稿では格パターンによる分類を行った上で、さらに、韓国語訳や個別例ごとの特徴もあわせて記述することによって、韓国人学習者にとってより有益な分類・韓国の日本語教育現場ですぐに活用可能な分類を目指す。

2. 先行研究

複合動詞の代表的な研究成果として挙げられるものは、前述の森田(1990)のほかに野村・石井(1987)、姫野(1999)、石井(2007)のようなものもあり、これらの調査を通して「～込む」の造語力の高さが確認できる。なお、表1における括弧内の数字はV1の数を意味し、「～出す／～得る／～始める／～合う」は統語的複合動詞と分類されるものである(影山1993)²⁾。

1) 『複合動詞レキシコン』については、神崎(2013)の紹介記事があるので参照されたい。

2) ただし、野村・石井(1987)の「～出す(432)」と「～掛ける(236)」の中には「思い出す・送り出す」「立て掛ける・話し掛ける」のような、通常、語彙的複合動詞として用いられる場合が多いものも含まれている。

＜表1＞ 先行研究における造語力の高いV2

	野村・石井(1987:222)	森田(1990:284)	姫野(1999:245-260)	石井(2007:31)
1	～出す(432)	～込む(135)	～合う(319)	～込む(150)
2	～得る(432)	～付ける(102)	～込む(285)	～出す(94)
3	～始める(399)	～付く(97)	～切る(251)	～付ける(85)
4	～合う(273)	～出す(93)	～出す(158)	～上げる(84)
5	～掛ける(236)	～上げる(82)	～上げる(152)	～合う(67)
6	～込む(231)	～合う(63)	～付ける(107)	～付く(47)

また、李(2019)で用いた「韓国人のための複合動詞データベース」(以下「複データ」)には、合計62冊の教材から採集した13,693件の複合動詞が収録されているが、そこにおいても「～込む」の用例数は第一位になっている。このように「～込む」は造語力が高く、頻繁に用いられるため、また、多様な意味用法を持つということもあり、それに関する先行研究は数多い。以下では、計量調査を通して「～込む」の先行研究を把握した後、研究の目的上、「韓国人学習者・日本語教育・韓国語訳」という三つの点で本稿の参考になる論考を中心に概観することにする。

2.1. 計量調査

計量調査は、1)于・佐藤・佐藤(2009)の「日本における複合動詞研究—主な参考文献目録—」(Ⅰリスト)、2)国立国語研究所(2014)の「動詞+動詞型複合動詞の研究文献一覧(Ver.3)」(Ⅱリスト)、3)李(2016)の「韓国人研究者による日本語の複合動詞に関する研究論文一覧」(Ⅲリスト)、の三つの目録データを活用した。これらを通して「～込む」が含まれている題目の文献を調査し、さらに、4)先行研究の参考文献と論文検索サイト(DBpiaやRISSなど)を活用した追加調査も行った。その結果、延べ40本の論考を入手することができた。リスト間には重複するものもあったため、最終的に末尾の「付録：「～込む」に関する研究文献一覧表」にまとめた文献は33本になった。

＜表2＞ 計量調査の結果

	Ⅰリスト	Ⅱリスト	Ⅲリスト	追加調査	延べ	一覧表
研究文献数	7本	10本	11本	12本	40本	33本

以上の調査は、便宜上、文献の題目を通して判断したため、「～込む」を取り扱っている文献を網羅しているとは言えない。結果的に、松田(2002、2004)や姫野(1999)などの重要な文献は含まれていないが、年度順にまとめた末尾の一覧表をみると、「～込む」に

関する研究の流れを汲み取ることはできるはずである。

2.2. 概観と問題提起

上記の33本のうち、ここで概観するのは、日本語教育という観点から考察したものとして、韓国人学習者を対象にしてテスト・アンケート調査を実施した李(2010b、2011)、권태화(2011)と、韓国語訳の類型分類を行った川口・李(2001)、諸・鄭・上原(2005)、이경수(2010)である。

まず、李(2010b)は学部生・大学院生128名に高頻度の24語の「～込む」を対象とする日本語作文調査を行ったもので、李(2011)は学部生・大学院生124名に高頻度の50語の「～込む」を対象とする韓国語への翻訳テストを実施したものである。その結果として二つの調査は、全体的な正答率はそれぞれ50%未満であり、「～込む」型複合動詞は韓国人学習者に十分に定着・理解していないと指摘している。

次に、권태화(2011)は大学生151名を対象に「～込む」を活用した作文テストと複合動詞の学習に関するアンケート調査を行ったものである。その結果、複合動詞の学習機会を経験していない学習者が7割以上であることと、97%の学習者が複合動詞の習得の必要性を感じていることを報告している³⁾。

最後に、韓国語訳の類型分類を行った三つの研究は、それぞれ以下のように分類している。なお、川口・李(2001)の分類には引用者によって表記を改めた箇所がある。

〈表3〉 先行研究における「～込む」に対応する韓国語訳の類型分類

先行研究	類型分類
川口・李(2001)	1) 「들어가다, 오다」「넣다」による対応、2) 副詞による対応、3) 「해두다」「해버리다」による対応、4) 「受動形」「使役形」としての対応、5) 「끌어들이다」としての対応、6) 韓国語の本動詞として対応
諸・鄭・上原(2005)	1) 動詞+動詞、2) 単純動詞、3) 副詞・副詞的な語句+動詞
이경수(2010)	1) 1:1 대응、2) 역전、3) 한자어+하다、4) 설명형、5) 다양、6) 전혀 다른 제3의 형태(양태)

表3における各分類の妥当性については特に問題とせず、研究の目的上、以上の先行研究の概観を通して指摘したいことは、1)高頻度の「～込む」を選定するために用いられた資料の中に韓国で出版されたものが含まれていない、2)韓国語訳の多様性と個別例ごと

3) その必要性の理由としては「より日本語らしい日本語を駆使したい」「辞書に収録されていないものが多い」などの意見が提示されている。

の特徴が明示的に示されていない、という2点である。高頻度の「～込む」を選定する際に、韓国人学習者向けに韓国で出版された資料からの頻度調査の結果が反映されれば、韓国人学習者により適したリストを提供することができるだろう。また、何らかの基準に基づいて整理した種々の韓国語訳と個別例の特徴があわせて提示できれば、韓国の日本語教育現場において指導する側からも指導を受ける側からも有益な資料として活用できるはずである。本稿では先行研究の不十分な点として当該の二つの問題を提起し、以下、具体的な分析に入ることにする。

3. 考察資料と方法

3.1. 考察資料

前述の「複データ」には、1,040件の「～込む」の用例とその韓国語訳が収録されている⁴⁾。今回、既存の「複データ」に5冊の教材から採集した456件の複合動詞の用例と韓国語訳を追加し、最終的には合計14,149件の用例が確保できた。本稿ではこの中の1,081件の「～込む」の用例を用いて「～込む」のデータベース(以下「～込むデータ」)を構築し、考察対象とした。用例採集に用いた教材は合計67冊で、1冊を除いてすべて韓国人学習者向けに韓国で出版されたものである。なお、教材を選定する際の基準については李(2019)を、今回、新しく追加した5冊を含め、合計67冊の詳細については末尾の「用例採集の資料」を参照されたい。

3.2. 考察方法

前述の二つの問題、すなわち、頻度調査の資料として韓国人学習者向けに韓国で出版されたものが用いられていないことと、韓国語訳の多様性と個別例の特徴が明示的に示されていないこと、の2点の問題を解決するために、本稿では以下のような方法を取った。

まず、1,081件の「～込む」の具体例のうち、どのようなものがよく用いられているのかについて調べた。データベースのフィルター機能を活用して生じた頻度を確認し、本稿の調査を通して得られた高頻度の「～込む」を選定した。その後、先行研究における高頻

4) 李(2019)では「～込む」の用例が「1,041件」となっているが、本稿を作成する過程で「寝転ぶ」が「寝込む」に収録されている誤りを見つけたため、修正を行った。

度の具体例と照らし合わせ、一致するもの同士にグループ分けした。そして、そのリストを本稿における最終的な高頻度の「～込む」と見なした。一つ目の問題はこのような方法で解決を試みた。

次に、選定された高頻度の「～込む」を中心に個別例ごとにその韓国語訳を検討した。具体的にどのような訳が生起しており、それらの訳は適切であるかどうか、また、その中で最も頻繁に用いられている訳はどれか、などについて綿密に確認した。これは二つ目の問題を解決するための予備調査に該当する。

最後に、『複レキ』や姫野(1999)などの先行研究の成果を踏まえつつ、上記の分析結果を反映した「～込む」の下位分類を試みた。格パターンによる分類を行った上で、検討済みの韓国語訳と個別例に見られる特徴をあわせて記述することによって、韓国語学習者により分かりやすく、実質的に役立つ分類を目指した。なお、より詳細な下位分類の仕方については4.3.で記述する。

4. 結果と分析

4.1. 高頻度の「～込む」

考察対象の「～込む」の異なり語数は合計125語であった。表4は頻度別異なり語数を示したものである。

<表4> 頻度別異なり語数

頻度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
語数	36	20	9	6	6	2	5	2	6	2	×	3	2	3	2
頻度	16	17	18	19	21	23	26	27	28	29	38	39	48	79	85
語数	2	1	1	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1

そして、表5は、先行研究における高頻度の「～込む」との対照を考慮し、頻度10までの具体例を頻度順に挙げたものである。便宜上の選定ではあるが、本稿ではこれら为本稿の調査を通して得られた相対的に高頻度の「～込む」と見なす。

<表5> 本稿の調査を通して得られた高頻度の「～込む」

順位	具体例(頻度)	順位	具体例(頻度)	順位	具体例(頻度)	順位	具体例(頻度)
1	申し込む(85)	10	乗り込む(27)	19	取り込む(17)	27	冷え込む(13)
2	落ち込む(79)		見込む(27)	20	座り込む(16)	29	流れ込む(12)
3	飛び込む(48)	12	覗き込む(26)		盛り込む(16)		入り込む(12)
4	巻き込む(39)	13	差し込む(23)	22	押し込む(15)	放り込む(12)	
5	突っ込む(38)	14	追い込む(21)		溶け込む(15)	32	駆け込む(10)
6	持ち込む(29)		飲み込む(21)	24	詰め込む(14)		黙り込む(10)
	割り込む(29)	16	思い込む(19)		寝込む(14)	X	
8	打ち込む(28)		振り込む(19)	踏み込む(14)			
	考え込む(28)	18	引っ込む(18)	27	吸い込む(13)		

「～込む」の頻度を調査し、高頻度の具体例を提示しているものとしては、李(2010a、2010b、2011)がある。これらは李・石井(2010)で選ばれた100語の「～込む」を基準にした上で⁵⁾、李(2010a：197)では各種コーパスの頻度と合成することで50語の「～込む」を、李(2010b)では李・石井(2010)の100語のうち、上位24語を提示している。そして、李(2011：480)では一部微修正を加えた上で、各種の日本語において等しく高頻度であり、母語話者にとっての親密度の高い上位の50語を挙げているが、結果的にその具体例は李(2010a)の50語と同一のものになっている。

表6は、表5の例と李(2010b、2011)の例を照らし合わせ、一致するもの同士にグループ分けしたものである。表5・李(2010b)・李(2011)にすべて含まれているものをⅢ、表5と李允昊(2011)に共通するものをⅡa、李(2010b)と李(2011)に共通するものをⅡbと区分した。また、表5のみにあるものはⅠa、李(2011)のみにあるものはⅠbに分類した。

<表6> 表5の例と李(2010b、2011)の例の一致するもの同士のグループ分け

区分	語数	具体例
Ⅲ	20	打ち込む、追い込む、落ち込む、思い込む、駆け込む、考え込む、吸い込む、座り込む、黙り込む、突っ込む、詰め込む、飛び込む、乗り込む、冷え込む、踏み込む、放り込む、巻き込む、申し込む、持ち込む、割り込む
Ⅱa	8	押し込む、差し込む、取り込む、流れ込む、飲み込む、入り込む、振り込む、見込む
Ⅱb	4	書き込む、滑り込む、流し込む、読み込む
Ⅰa	5	溶け込む、寝込む、覗き込む、引っ込む、盛り込む
Ⅰb	18	売り込む、抱え込む、忍び込む、絞り込む、信じ込む、住み込む、攻め込む、倒れ込む、頼み込む、使い込む、包み込む、連れ込む、煮込む、走り込む、話し込む、引き込む、吹き込む、呼び込む

5) 李(2010b：144)によると、100語の「～込む」は、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)・新聞コーパス・文学コーパス・ウェブコーパスの頻度を主成分分析で合成した値と日本語母語話者の内省による主観的親密度を比較して選定したものであるという。

表6の例は、1)種々のコーパスにおける頻度、2)日本語母語話者の内省による主観的親密度、3)韓国入学者向けに韓国で出版された教材における頻度、という三つの基準によって選定したものととなる。結果的に、先行研究で採用した1)と2)の基準に、本稿の新たな3)の基準を追加することによって、その選定基準をより強化し、選ばれた具体例の信頼度も高めることができたと考える。本稿では表6のリストを最終的な高頻度の「～込む」と見ますが、その具体例としてI aの「溶け込む、寝込む、覗き込む、引っ込む、盛り込む」の5語を新たに追加したことは、本稿の調査を通して得られた成果と言える。

4.2. 「～込む」の韓国語訳の検討

4.3.で行う「～込む」の下位分類には韓国語訳が活用される。ここでは、韓国語訳の多様性を明示的に示すための予備調査として、該当する特定の例を通して、1)不自然な訳の修正、2)代表的な訳の選定、という2点を取り上げる。なお、以下、個別例の意味を明示する際は、便宜上『デジタル大辞泉』『大辞林』を参考にすが、該当する意味が収録されていない場合は『新明解国語辞典』のような他の辞書を活用することもある。

4.2.1. 不自然な訳の修正

1,081件の「～込む」に対応する韓国語訳の中には、そのままでは受け入れられない不自然な訳が含まれていた。(2b)はその具体例である。

- (2)a. 姉を看病しているうちに自分も熱を出して寝込んだ。(실전N1 : 15)
 b. 언니를 간병하고 있는 사이에 자신도 열을 내고 숙면했다.(실전N1 : 161)
 c. 언니를 간병하고 있는 사이에 나도 열이 나서 드러누웠다.

「自分」を「자신」に訳したことについては問題にしないとしても、「熱を出して」を「열을 내고」に逐語訳したことについては支持できない。この文においては、(2c)のように「열이 나서」と訳すべきであろう⁶⁾。また、(2a)の「寝込む」は「熱を出して」に後続している

6) 以下のような例も日本語の「～ヲ格他動詞」が韓国語では「～가格自動詞」に訳される事例として、韓国入学者にとっては注意を要する表現である。

- (1)a. 昨日、お腹を壊して死ぬかと思ったよ。(作例)
 b. 어제 배탈이 나서 죽는 줄 알았어.(←*배탈을 내서)
 (2)a. マンションの5階から2歳の女の子が転落した。女の子は左足の骨を折って病院に運ばれたが、命に別状はないという。(http://news.livedoor.com/article/detail/15485466 ; 2018年10月23日検索)
 b. 아파트 5층에서 두 살된 여자 아이가 떨어졌다. 여자 아이는 왼쪽 다리뼈가 부러져 병원으로 옮겨졌지만 생명에는 지장이 없다고 한다.(←*왼쪽 다리뼈를 부러뜨려)

こともあり、この文脈では、<ぐっすり>と寝入る。熟睡する>という意味ではなく、<病気で床につく>という意味であると考えられる。すると、その対応形は「숙면하다」より「드리눅다」の方がより自然な訳になる。

韓国語訳についての検討の結果として、最初に不自然な訳を挙げたのは、それが「～込む」の韓国語訳の多様性を明示する上での先決課題の一つであり、最も高頻度の訳を抽出するためにも必要であるからである。以下、4.3.の下位分類で提示する韓国語訳は、基本的に「訳の不自然さ」の検討を済ませたものである。

4.2.2. 代表的な訳の選定

原則として本稿では最も高頻度の訳を当該例の代表的な訳と見なす。85件の用例が採集され、本稿の調査では頻度第一位の「申し込む」を通して確認する。

- (3)a. 私たちは市当局に財政援助を申し込んだ。
 b. 우리는 시 당국에 재정 원조를 신청했다. (VOCA : 366)

『複レキ』によると、当該語は「N1がN2=N3ヲ申し込む」という格パターンを持つ他動詞であり、「～込むデータ」における対応する韓国語としては「신청하다」が85件のうち75件で圧倒的に多い。この結果に基づき、本稿では「신청하다」を「申し込む」の代表的な訳、つまり、第一訳と認定する。これを踏まえた上で以下の例も見てみよう。

- (4)a. 彼は彼女に結婚を申し込んだが、断られた。
 b. 그는 그녀에게 결혼을 신청했지만 거절당했다. (합격 : 307)
 (5)a. 優子さんに結婚を申し込むのは、今日をおいてない。
 b. 유코 씨에게 청혼하는 것은 오늘말고는 없다. (기출10 : 42, 31)
 (6)a. さんさん悩んだあげく、思いきって彼女に結婚を申し込むことにした。
 b. 몹시 고심한 끝에 과감히 그녀에게 포르포즈를 하기로 했다. (한권N2 : 224)

(4)の文では「結婚を」が「申し込む」の対象になっており、その韓国語訳としては「결

(3)a. 転んで膝を擦りむいて、かさぶたができた。

b. 넘어져 무릎이 까져서, 딱지가 생겼어. (러브 : 179, 引用者による微修正あり) (←*무릎을 깨서) 日本語の「～ヲ格他動詞」と韓国語の「～가格自動詞」との対応関係に関わる諸問題については別稿で論じることとする。

혼을 신청하다」が当てられている。『複レキ』の「申し込む」の右肩にある「NLB」(NINJAL-LWP for BCCWJ)によると、「...を申し込む」の「...」に位置する名詞として最も多いのは「結婚」であり、日本語では「結婚を申し込む」がよく用いられる表現であることが確認できる。しかし、韓国語では「결혼을 신청하다」という表現は、聞けば分かるが、実際の使用はそれほどないと思われる。通常、当該表現の韓国語訳として当てられるのは、(5)と(6)のような「청혼하다」か「포로포즈(를) 하다」である。

当該語に関する以上の結果を日本語教育現場での活用という観点から整理すると、指導上のポイントとしては、1)「～込む」の個別例の中で高頻度のものである、2)「N1がN2=N3ヲ申し込む」という格パターンを持つ他動詞である、3)代表的な韓国語訳は「신청하다」である、4)よく用いられる表現の一つに「結婚を申し込む」があり、これは「청혼하다, 포로포즈(를) 하다」と訳される、といった点が挙げられる。教育現場ではこの4点を基本にした上で、「抗議を申し込む→항의를 제기하다/借金を申し込む→돈을 빌려달라고 부탁하다/苦情を申し込む→불평을 말하다」のような例に見られるヲ格名詞とそれぞれの訳についての補足説明を加えると、当該語の基本的な情報は提供したことになり、学習者の「申し込む」の理解と習得に役立つであろう。

4.3. 「～込む」の下位分類

4.1.と4.2.の分析結果を活用し、ここでは本稿の目的である「～込む」の下位分類を行う。具体的な分類の仕方としては、まず、表6の55語を対象に『複レキ』の基本文型、すなわち、格パターンを確認し、ニ格とヲ格を取るか否かによって、1)二つの格を取らないもの、2)ニ格は取らず、ヲ格を取るもの、3)ヲ格は取らず、ニ格を取るもの、4)二つの格を取るものに大別した。前から順に「ガ」タイプ、「ガ・ヲ」タイプ、「ガ・ニ」タイプ、「ガ・ニ・ヲ」タイプと呼ぶことにし、分類の結果を表6のリスト順に示すと、以下のような⁷⁾。なお、『複レキ』に複数の語義が収録されている場合は、①～④を用いて語義の順番を示した。

7) 「打ち込む、落ち込む」のように複数の意味と格パターンが収録されているもの、「思い込む、差し込む」のように一つの意味に二つの格パターンが提示されているものもあり、本稿ではそのことも反映して分類した。

〈表7〉 各タイプの具体例

タイプ	具体例
ガ	落ち込む④、思い込む、考え込む、黙り込む、冷え込む①②、差し込む、寝込む①②、引込む①②③、走り込む②、話し込む
ガ・ヲ	思い込む、考え込む、吸い込む、踏み込む①、割り込む②、飲み込む①②、見込む①②、読み込む②、覗き込む、抱え込む①②③、信じ込む、使い込む①、包み込む、煮込む①②
ガ・ニ	打ち込む③、落ち込む①②③、駆け込む、座り込む、突っ込む①、飛び込む、乗り込む①②、踏み込む②③④、割り込む①、流れ込む、入り込む、滑り込む①②③、溶け込む①②、忍び込む、住み込む、攻め込む、倒れ込む、頼み込む、走り込む①、吹き込む①
ガ・ニ・ヲ	打ち込む①②、追い込む、突っ込む②③、詰め込む、放り込む、巻き込む①②、申し込む、持ち込む、押し込む、差し込む、取り込む①②、振り込む①②、書き込む、流し込む、読み込む①、盛り込む、売り込む、絞り込む①②、頼み込む、使い込む②③、連れ込む、引き込む①②、吹き込む②③④、呼び込む

次に、各タイプに属する各々の具体例を対象に「韓国語訳」と「個別的特徴」を付与した。ちなみに、韓国語訳は「～込むデータ」における訳を頻度順に適切に整理したものであり、個別的特徴は先行研究と同データベースの韓国語訳を検討する過程で、1)先行研究では見当たらない、2)先行研究の不備を補うことができる、3)韓国人学習者にとっては注意が必要である、4)今後の研究テーマを提供する、といった点を考慮して抽出したものである⁸⁾。以下、各タイプ別に整理した結果を示し、そして最後に、本稿の下位分類の意義について述べることにする。

4.3.1. 「ガ」タイプ

このタイプはニ格とヲ格を取らないものである。該当する例としては「落ち込む④、思い込む、考え込む、黙り込む、冷え込む①②、差し込む、寝込む①②、引込む①②③、走り込む②、話し込む」があり(下線は表6の「Ⅲ・I a」の例、以下同じ)、「N1ガ～、N1ガN2/スト～、N1ガスト～、N1ガN2ト～、N1ガN2カラ～」がこのタイプの具体的な格パターンとして挙げられている⁹⁾。表8は該当する10語のうち、下線の7語について整理したものである¹⁰⁾。なお、括弧内の数字は「～込むデータ」での頻度を表す。「落ち

8) 個別的特徴としては『複レキ』の意味と格パターンについて、また「NLB」から得られた結果について記述することもある。その背景には、先行研究の成果を活用するとともに、それらの不十分な点を補おうとする狙いがある。

9) 『複レキ』における格パターンは複合動詞ごとに必須と思われる最小限のものを採用しており、格パターンにおけるNは名詞、Sは節、数字は語順、「/」はどちらの格も使用可能であることを意味する(神崎2013: 445-446)。

10) 以下、具体例の提示に当たっては、1)紙面の都合上、各タイプに属するすべての例を提示することはできない、2)基本的に表6の「Ⅲ」と「I a」の例を提示し、参考までに他の例を追加して提示することもある、3)「Ⅲ」の例は55語の中でも相対的に重要であるということで、「I a」の例は本稿で追加した成果を反映するという意味で提示の対象にする、といった点を考慮した。

込む④(44)」の場合、『複レキ』の4番目の意味としては44件の用例が採集できており、その中で「침울해지다」が12件、「침울해하다」が8件、「우울해하다」が4件、「우울해지다」が1件であったので、原則として最も高頻度の訳を優先して「침울해[우울해]지[하]다(25)」のような形に整理した。

〈表8〉「ガ」タイプ

具体例(頻度)	格パターン	韓国語訳⇒個別の特徴
落ち込む④ (44)	N1ガ～	④침울해[우울해]지[하]다(25), 풀이 죽다(7), 침울[낙담, 낙심]하다(6), 시무룩하다(2), 기운이 없다(1), 기운 못 차리다(1), 기죽다(1), 의기소침해지다(1)⇒「～込むデータ」の79件のうち、44件が『複レキ』の④の意味であり、当該語は表10で整理した①②③の意味より④の意味でよく用いられている。
思い込む (19)	N1ガN2/St～	믿어버리다(7), 굳게[철석같이] 믿다(4), [생각하고] 믿다(4), 확신하다(1), 생각에 빠지다(1), 생각하다(1), 마음먹다(1)⇒이경수(2010)の指摘通りに「考え込む」との意味の区別に留意する必要がある。V2「込む」と副詞(形)「철석같이, 굳게」との対応関係が認められる。
引っ込む①②③ (18)	N1ガN2カラ～	①[쑥] 들어가다(6)+②들어박히다(6), 들어앉[오, 가]다(3), 물러나다(1), 움츠러들다(1)+③(숙답)물러서다(1)⇒①の場合は、V1「引っ」と副詞「쑥」との対応関係が認められる。②の「들어박히다」の場合は「家[部屋]に引っ込む」のように「N1ガN2ニ～」という格パターンを有すると考えられるが、『複レキ』には「N1ガN2カラ～」になっている。
寝込む①② (14)	N1ガ～	①꼭 잠들다(3), 자다(1)+②[자리에] 눕다(6), 드러[몸져]눕다(4)⇒①の意味より②の意味でよく用いられている。①の場合、V2「込む」と「꼭, 깊이」のような副詞との対応関係が認められる。②の意味で用いられた文では「風邪で、病気で、頭痛で、熱を出して」のような原因を表す表現が生起している。
冷え込む①② (13)	N1ガ～	①몹시[아주] 춥다[추워지다](3), 추위[쌀쌀해]지다(2), 기운이 내려가다(1)+②얼어붙다(3), 위축되다(2), [아주] 침체되다(2)⇒V2「込む」と「몹시, 아주」のような副詞との対応関係が認められる。①のN1と②のN1は異なり、後者のN1としては「消費者心理、住宅市場、個人消費、景気、国民感情」などが用いられている。
黙り込む (10)	N1ガ～	입을 다물다(5), 잠자코 있다(3), 침묵을 지키다(1), 침묵하다(1)⇒「잠자코 있다」と訳される場合は「黙り込んでいる」という形を取っている。
考え込む(5)	N1ガSt～	생각에 잠기다(4), 생각하다(1)⇒Stとしては「そういう人が増えてきたのかも、どちよつと考え込んでしまった」(다다익선 : 171)などのような例が観察される。ト格が生起していることを反映して表9の「考え込む(23)」とは区別したが、意味は同じである。

4.3.2. 「ガ・ヲ」タイプ

このタイプはニ格を取らず、ヲ格を取るものである。該当する例としては「思い込む、考え込む、吸い込む、踏み込む①、割り込む②、飲み込む①②、見込む①②、読み込む②、覗き込む、抱え込む①②③、信じ込む、使い込む①、包み込む、煮込む①②」があり、「N1ガNヲ～、N1ガN2ヲN3/St～、N1ガN2ヲSt～」がこのタイプの具体的な格パターンとして収録されている。表9は14語のうち、下線の6語に「飲み込む①②」と「見

込む①②」(表6の「Ⅱa」の例)も含めて、その整理結果を挙げたものである。

<表9> 「ガ・ヲ」タイプ

具体例(頻度)	格パターン	韓国語訳⇒個別の特徴
見込む①② (27)	N1ガN2ヲ～	①예상[전망]하다(15), 내다보다(1), 미리 계산에 넣다(1)+②기대하다(5), 신임하다(2), (～고) 보다(1), 점 찍다(1)+③씩다(1)⇒①のN2としては「増益、損失、利益、増加、人出、利用、需要、増収」などが用いられている。②の「(～고) 보다」は「确实だと見込んで金を出す」(KING: 751)の訳であり、NLBを参考にすると、「...と見込む」は比較的好く用いられる文型である。③の訳は「悪魔に見込まれる」(KING: 751)に対応するものであり、<ねらいをつけたものに執念深くとりつく>という③の意味は『複レキ』には収録されていない。
覗き込む (26)	N1ガN2ヲ～	들여다보다(25), 얼굴을 들이밀고 보다(1)⇒「 들여다보다」に対応する日本語としては「覗く」と「覗き見る」もあり、3者は類義語分析の対象になり得る。
考え込む (23)	N1ガN2ヲ～	[곧똥히] 생각에 잠기다(11), 곧똥히[깊이] 생각하다(11), 숙고하다(1)⇒N2としては「変更、何か」が観察されたが、実例ではヲ格の生起はそれほど見られない。V2「込む」と副詞「곧똥히, 깊이」との対応関係が認められる。「思い込む」との意味の区別に留意する必要がある。
飲み込む①② (21)	N1ガN2ヲ～	①[집어]삼키다(7), 들이마시다(1), 들이켜다(1)+②이해하다(5), 터득하다(5), 익히다(1), 다 결정하다(1; 意訳)⇒①のN2としては「飴、団子、唾、ビール、息」のようなものが、②のN2としては「要領、状況、言っていること、大体の事、運転のこつ、この呼吸、学校の様子」のようなものが用いられている。
吸い込む (13)	N1ガN2ヲ～	들이마시다(6), 빨아들이다(5), 마시다(1), 흡입하다(1)⇒能動形の場合は「들이마시다」に、受身の場合は「빨려들어가다」に訳される場合が多い。
割り込む② (4)	N1ガN2ヲ～	②떨들다(2), ~이하로[～보다] 떨어지다(2)⇒N2として「101円、公定為替レート、1億人、0.7%」が生起している。表10の「割り込む①」とは意味も格パターンも異なるので要注意である。
思い込む (0)	N1ガN2ヲ N3/St～	⇒「N1ガN2ヲN3/St～」の例としては『複レキ』に「彼らはその噂を真実だと思い込んだ」という文が収録されているが、「～込むデータ」にはN2ヲが生起している文はない。対応する韓国語訳は表8の「思い込む(19)」を参照されたい。
踏み込む① (0)	N1ガN2ヲ～	⇒『複レキ』の<力を込めて足を踏み入れる>という①の意味として用いられている例文は「～込むデータ」にはない。NLBでは「...を踏み込む」のNとして順に「アクセル、足、右足、左足、ペダル」のようなものが挙げられている。「アクセルを踏み込む」は「액셀을 힘주어[세게] 밟다」と対応させることができ、この場合の「込む」は<力を込めて>という意味を担うことになる。

4.3.3. 「ガ・ニ」タイプ

このタイプはヲ格は取らず、ニ格を取るものである。該当する例としては「打ち込む③、落ち込む①②③、駆け込む、座り込む、突っ込む①、飛び込む、乗り込む①②、踏み込む②③④、割り込む①、流れ込む、入り込む、滑り込む①②③、溶け込む①②、忍び込む、住み込む、攻め込む、倒れ込む、頼み込む、走り込む①、吹き込む①」があり、「N1ガN2ニ～、N1ガN2ニ/へ～、N1ガN2カラN3ニ～、N1ガN2カラN3ニ/へ～、N1ガN2ニSt～」がこのタイプの具体的な格パターンとして挙げられている。表10は、該当する20語のうち、下線の10語について整理したものである。

<表10> 「ガ・ニ」タイプ

具体例(頻度)	格パターン	韓国語訳⇒個別の特徴
飛び込む (48)	N1가N2ニ～	뛰어[날아]들다(41), 뛰어들어가다(3), 들어오[가]다(2), 들러오다(1), 올라타다(1)⇒N2としては「プール、水、川、海、池、部屋、家、電車、上等、炎の中、耳、目、腕の中」のようなもののほかに、「新しい環境、未知の世界」のようなものも生起している。ただし、ニ格とともに「私の部屋へ飛び込んできた」(완벽N1: 386)のようなへ格も観察される。
落ち込む①②③ (35)	N1가N2ニ～	①떨어지다(1), 쓸리다(1)+②움푹 들어가다(1)+③[뚝] 떨어지다(21), 침체[저하]되다(4), 빠지다(3), 줄다(3), 빠져버리다(1)⇒表8の「落ち込む④」の次に③の意味がよく用いられている。③のN1としては「業績、売り上げ、稼働率、利用率、就職内定率、自給率、内需、消費、原油生産、輸入、注文、留学生総数、野菜の入荷、税金、売れ行き、イメージ、気分、観光、落とし穴、危険なほめ、泥沼」のようなものが生起している。
乗り込む①② (27)	N1가N2ニ～	①올라[뛰어들어] 타다(14), 타다(4), 오르다(1)+②쳐들어[들어]가다(3), 진입[침입]하다(2), 뛰어[몰려]들다(2), 오다(1)⇒①のN2としては「バス、自動車、船、馬車、タクシー、地下鉄」といった乗り物が、②のN2としては「敵地、陣地、車室」といった領域・場所を表す名詞が生起している。
割り込む① (25)	N1가N2ニ～	①[불쑥] 끼어들[았]다(15), 새치기하다(6), [미집고] 들어가다(3), 말참견하다(1)⇒N2として「列」が最も多く、他に「話、仲間、考え、森の中」のようなものが生起している。
座り込む (16)	N1가N2ニ～	[계속] 주저앉다(12), 눌러앉[다, 아 버리다](2), [죽치고] 앉다(2)⇒『複レキ』の<座って動こうとしない>、『大辞林』の<抗議・争議の戦術として特定の場所に座り続ける>という意味からすると、V2「込む」と副詞「계속」との対応関係を認めることができる。
溶け込む①② (15)	N1가N2ニ～	①녹[아들]다(4), 용해되다(2)+②동화[융화]되다(4), 녹아들다(2), 어우러지다(1), 어울리다(1), 익숙해지다(1)⇒①のN2としては「紅茶、水、水中、野菜スープ」のようなものが、②のN2としては「新しい環境[職場]、その場の雰囲気、日常の暮らし」のようなものが用いられている。
打ち込む③ (14)	N1가N2ニ～	③몰두[전념, 열중]하다(13), 빠지다(1)⇒N2として「仕事、研究、教育、趣味、作曲、論文執筆」のようなものが生起している。「打ち込む、没頭する、専念する、熱中する」の4語は類義語であり、このような例を考察し、その成果を蓄積していくことは、日本語教育における重要な課題と言える。
踏み込む②③④ (13) ¹¹⁾	N1가N2ニ～	②말을 들어놓다(3), 들여놓다(1)+③덮치다(3), 안으로[뛰어] 들어가다(2)+④파고들다(2), 깊이 있다(1), 앞서다(1)⇒②の「들여놓다(1)」の日本語文は「密林に足を踏み込む」(KING: 747)であり、ヲ格「足を」が生起している。『複レキ』にはこの例文に対応する「N1가N2=N3ヲ～」という格パターンは収録されていない。
駆け込む (10)	N1가N2=/~	뛰어들다(5), 뛰어들어가[오]다(4), 달려들어오다(1)⇒「뛰어들다, 뛰어들어가다, 뛰어들어오다」の訳が可能であるため、例えば「집 안으로 뛰어 들어왔다」の場合、「家の中に駆け込んだ」と「家の中に駆け込んできた」の二つの文の使い分けが韓国人にとっては一つの課題になることがある。
突っ込む① (9)	N1가N2ニ～	①돌진하다(7), 처박다(1), 깊이 날아들다(1)⇒N2として「コンビニ、敵陣、たんば、ゴール、あみの中、壁」などが生起している。ただし、ニ格とともに「原子力発電所へ突っ込んだ」(보카: 251)のようなへ格も見られる。

11) 表5から確認できるように、「～込むデータ」には計14件の「踏み込む」の用例が収録されており、残りの1件の例文は「田の中に堆肥を踏み込む→논에 퇴비를 밟아 넣다」(KING: 748)である。この場合の「踏み込む」は<踏んで入れる>(『新明解国語辞典』)という意味であり、「N1가N2=N3ヲ踏み込む」という格パター

4.3.4. 「ガ・ニ・ヲ」タイプ

このタイプはニ格とヲ格をとるものである。該当する例としては「打ち込む①②、追い込む、突っ込む②③、詰め込む、放り込む、巻き込む①②、申し込む、持ち込む、押し込む、差し込む、取り込む①②、振り込む①②、書き込む、流し込む、読み込む①、盛り込む、売り込む、絞り込む①②、頼み込む、使い込む②③、連れ込む、引き込む①②、吹き込む②③④、呼び込む」があり、「N1がN2ニN3ヲ～、N1がN2ヲN3ニ～、N1がN2ヲN3ニ/へ～」がこのタイプの具体的な格パターンとして収録されている。表11は該当する24語のうち、下線の9語に「振り込む①②」(表6の「IIa」の例)も含めて、その整理結果を挙げたものである。

<表11> 「ガ・ニ・ヲ」タイプ

具体例(頻度)	格パターン	韓国語訳⇒個別の特徴
申し込む (85)	N1がN2ニN3ヲ～	신청하다(75), 청혼하다(2), 포로포즈를 하다(1), 제기[제외, 표시, 부탁, 말]하다(5), (항의를) 하다(1), 청하다(1)⇒「청혼하다, 포로포즈를 하다」は「結婚を申し込む」の訳であり、NLBでは「...を申し込む」のNとして「結婚」が第一位になっている。「제기[제외, 표시, 부탁, 말]하다(5), (항의를) 하다(1)」のN3としては「抗議、苦情、借金」などが生起している。
巻き込む①② (39)	N1가N2ヲN3ニ～	①「～込むデータ」に「감아서 넣다」に訳される例無し+②말려들게 휘말리게, 휩쓸리게, 연루되게 하다(37), 끌어들이다(1), 포함하다(1)⇒受身形でよく用いられる。「Nに巻き込まれる」におけるNとしては「雪崩、嵐、事件、渋滞、争いの渦、いざこざ、ドラブル、面倒な事、大事故、犯罪、戦争」などが生起しており、すべてマイナス評価の語である。
突っ込む②③ (29)	N1가N2ニN3ヲ～	②쑤서[질러, 질러, 집어]넣다(11), 넣다(3), 마구[쑤] 집어넣다(2), 파묻다(1), 박다(1), 담그다(1)+③깊이 있다[관여하다, 파고들다](7), [날카롭게] 추궁하다(2), 손대다(1)⇒②のN2としては「ポケット」が相対的に多く、他には「洗面器、バケツ、穴、カバン、ハンドバックの中、おきのした、袋の中、お鍋」などが生起している。③の一例として「事件に首を突っ込む→사건에 깊이 관여하다」(KING: 438)のような慣用句が用いられたものがある。
持ち込む (29)	N1가N2ニN3ヲ～	가지고 들어오[가]다(8), 반입[지참]하다(7), 가지고[들여] 오다(3), 보내다(3), 가져가다(1), 개입시키다(1)⇒これらの訳は『複レキ』の<持って入る>という意味に対応するものである。「～込むデータ」の例文には<話し合い・解決・考慮などを求めて話をしかける。何とかしてくれと言う>、<(決着がつかないで)次の段階に移す>という意味で用いられているものもあり、それらには「털어놓다(2), 넘기다(3)」という訳が当てられている。また、他に「古川の持っている田圃の井戸を埋めて尻を持ち込まれた事もある→후루카와(古川)가 가지고 있는 논의 우물을 메워서 물어준 적도 있다」(도련님 상: 17)のように「尻を持ち込む」という慣用句が用いられた例文もある。これらの例も反映するためには『複レキ』における「持ち込む」の意味をより細かく記述する必要がある。
追い込む (21)	N1가N2ヲN3ニ～	[내, 궁지에] 몰다(12), 몰아넣다(6), 빠지게 하다(1), 막다른 곳으로 몰고 가다(1), 전력을 쏟아 분발하다(1)⇒第一訳のすべての例は受身形で、

ンを有すると考えられるが、『複レキ』に当該の意味と格パターンは収録されていない。

		「물리다, 내물리다, 궁지에 물리다」と訳されている。第二訳のすべての例は能動形である。「궁지에」は「궁지로」に言い換えられるが、その対応形としては「窮地に」が用いられ、両言語間で1対1の対応関係が成立する。
振り込む①② (19)	N1가N2=N3ㄱ~	①입금[송금, 불입, 납입, 이체]하다(19)+②無し⇒①の韓国語訳は「2字漢字語(入金・送金・払入・納入・移替)+하다」の形を取る。「取り消す→취소(取消)하다」のように、「振り込む→*진입(振込)하다」にはならない。『複レキ』の②の意味は<(マージャン用語)他人の上がり牌を捨てる>であり、この意味で用いられた用例は「~込むデータ」にはない。
盛り込む (16)	N1가N2=N3ㄱ~	담다(9), 포함[종합]하다(5), 포함시키다(2)⇒相対的にニュースの資料でよく生起しており ¹²⁾ 、このことは分野ごとによく用いられる複合動詞がある、ということを示唆するという点で注目に値する。
詰め込む (14)	N1가N2ㄱN3니~	[가득, 잔뜩] 채워[집어, 쑤서]넣다(8), 주입하[되]다(3), 가득 채우다(1), 태우다(1), 쥐다(1)⇒「ぎゅうぎゅう、ぎしぎし」のような副詞と共起することがある。V2「込む」と副詞「가득, 잔뜩」との対応関係が認められる。
打ち込む①② (13)	N1가N2=N3ㄱ~	①막[아넣]다(6)+②입력하다(3), 집중시키다(1), 단타하다(1), 쏘다(1), 내던지다(1)⇒28件の「打ち込む」のうち、「打ち込む①②」が13件、表10の「打ち込む③」が14件であり、残り1件の用例は「相手を打ち込む→ 상대를 때리다」(KING:708)である。NLBの「...を撃ち込む」(原文のママ)では「相手を打ち込む」という文は見当たらないが、ネット上の剣道の技を説明する文では「相手の竹刀を払い、中心線の防御を崩して打ち込む技です」のような形で用いられていることが確認できる。
放り込む (12)	N1가N2=N3ㄱ~	던져[집어, 치]넣다(11), 집어던지다(1)⇒「鬼どもはそういう地獄の中へ、代わる代わる杜子春を放り込みました」(라쇼몽:115)のように、へ格を取ることもある。이경수(2010:96)には「投げ込む」との相違がイラストによって表されている。「放り込む、放り入れる、投げ込む、投げ入れる」の4語は類義語関係にあり、このような類義語の複合動詞を対象にした考察も韓国入学者のためには重要な課題と言える。

4.3.5. 本稿の下位分類の意義

「~込む」を対象にして行った下位分類の一つに李(2010a)がある。同氏は冒頭で「初級日本語学習者の視点から見て重要なことは、実際には使用されないような低頻度語形や低頻度の意味まで含めて「~込む」の意味の網羅的な全体像を知ることではなく、数ある「~込む」のうち特に高頻度で使われる語の高頻度な意味について正しく理解することである」(李2010a:192)と指摘した後、日本語教育という観点から表12のような分類を提案している。

12) 16件の「盛り込む」の出典と用例数は「NHK(9件)· 환권(2件)· 보카(1件)· 달인(1件)· 끝내기(1件)· 완벽해설N1(1件)· 실전N1(1件)」のようになっている。合計67冊の中で、当該語が生起しているのは7冊のみであるが、その中で用例数の最も多いのはニュースの SCRIPT であるNHKである。

<表12> 李(2010a:209)の「意味タイプの再分類¹³⁾」

	I	II	III	IV
	他動詞の一回性の移動行為	心理的・内部的焦点化	人間の思考行為の強化	自動詞の一回性の移動行為
主要意味	対象物を何らかの場所の内部へ移動させること	抽象的・心理的・内部的を焦点化し、そこで意味の強化を図ること	人間の思考行為を強めること	主体が何らかの場所の内部へ移動すること
意味タイプ	TM1	IM1	III	TM3, TM4, TM6, TM1, TM2, TM3, IM2, IM5, IM2
動詞の例	吸い込む、詰め込む、流し込む、放り込む、…	巻き込む、打ち込む、落ち込む、売り込む、…	考え込む、割り込む、思い込む、信じ込む、…	飛び込む、駆け込む、滑り込む、走り込む、…

この分類は基本的に「意味」を基準にして行ったものであり、高頻度の「～込む」を対象にしていることや主要意味を四つに大別したことなどは参考になる。ただ、この分類が教育現場で有効に活用できるか、という観点からはその有効性に疑問があり、特に「初級日本語学習者」を対象にする現場であるならば、その疑問はさらに大きくなる。本稿はこのような疑問から出発しており、4.3.で行った下位分類は格パターンという「形態」を基準にして行ったものであるため、李(2010a)のように「意味」を基準にしているものとは分類の仕方が異なる。

紙面の都合上、表5と表6のすべての例を提示することはできなかったが、本稿で整理した表5～表11を通して、1)高頻度の「～込む」、2)具体例の基本的な格パターン、3)個別例ごとの韓国語の第一訳、4)韓国語訳の多様性、5)具体例における個別的特徴、などを確認することができる。このうち、3)～5)は先行研究の成果と区別できるものであり、韓国語学習者に参考になる情報として活用できると思われる。また、幾つかの例を通しては今後の研究テーマをも提供しており、それらは複合動詞研究者にも参考になるだろう。

5. まとめ

本稿は「～込む」を対象にして格パターンによる下位分類を試みたものである。具体的にはまず、先行研究における高頻度のリストに本稿の頻度調査の結果を加え、55語の高頻度の「～込む」を新たに選定した。次に、その55語を対象に『複レキ』に収録されている各例の格パターンを確認し、ニ格とヲ格を取るか否かによって、1)「ガ」タイプ、2)「ガ・ヲ」タイプ、3)「ガ・ニ」タイプ、4)「ガ・ニ・ヲ」タイプに大別した。そして最後

13) 意味タイプは「他動詞(Transitive)、自動詞(Intransitive)、移動(Movement)、強化(Intensification)」という区分と、意味の下位区分を示した数字との組み合わせで分類されている。

に、各タイプに属する具体例に韓国語訳と個別例ごとの特徴を付与した。

以上のような整理を通して、本稿では、1)高頻度の「～込む」、2)具体例の基本的な格パターン、3)個別例ごとの韓国語の第一訳、4)韓国語訳の多様性、5)具体例における個別的特徴が確認できることを示した。

今後の課題としては、格パターン・韓国語訳・個別例の特徴、という3点を導入した本稿の下位分類がどれだけ有効なのか、その有効性についての検証が挙げられる。また、同一の方法で他の複合動詞についても整理し、その成果をまとめて『韓国人学習者のための日本語の複合動詞』（仮題）という教材を作成することも視野に入れている。

【参考文献】（末尾一覧表に含まれていないもののみ）

- 石井正彦(2007)『現代日本語の複合語形成論』ひつじ書房、p.31.
 李忠奎(2016)「韓国人から見た日本語の複合動詞－回顧と今後の課題－」『日本語文学』68、韓国日本語学会、pp.83-110. (<https://dx.doi.org/10.18704/kjll.2016.03.68.83>)
 ——(2019)「日本語の複合動詞と韓国語の副詞との対応関係に関する研究」『日本語学研究』59、韓国日本語学会、pp.159-178. (<https://dx.doi.org/10.14817/jlak.2019.59.159>)
 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房、p.96.
 神崎享子(2013)「国立国語研究所オンラインデータベース「複合動詞レキシコン」」影山太郎編『複合動詞研究の最先端－謎の解明に向けて－』ひつじ書房、pp.437-446.
 野村雅昭・石井正彦(1987)『複合動詞資料集』国立国語研究所、p.222.
 姫野昌子(1999)『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房、pp.245-260.
 松田文子(2002)「複合動詞研究の概観とその展望－日本語教育の視点からの考察－」『言語文化と日本語』5月特集号、日本言語文化研究会、pp.170-184.
 ——(2004)『日本語複合動詞の習得研究－認知意味論による意味分析を通して－』ひつじ書房
 森田良行(1990)「複合動詞について」『日本語学と日本語教育』凡人社、pp.278-295.

【辞書類・その他の資料】

- 『新明解国語辞典』（第五版）三省堂.
 『大辞林』（第三版）(<https://kotobank.jp/dictionary/daijirin/>) 三省堂.
 『デジタル大辞泉』（<https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>）小学館.
 国立国語研究所(2013)『複合動詞レキシコン』（2018年国際版ver.1.11）(<https://db4.ninjal.ac.jp/vlexicon/>)
 ——(2014)「動詞＋動詞型複合動詞の研究文献一覧(Bibliography on Verb-Verb Compound Verbs in Japanese)」(Ver.3)、pp.1-26. (https://pj.ninjal.ac.jp/lexicon/files/bunken_v3.pdf)

于康·佐藤暢治·佐藤利行(2009)「日本における複合動詞研究—主な参考文献目録—」『北研学
刊 特殊号·日本語の複合動詞』第5号、広島大学北京研究中心、pp.211-225.

뉴스 기사 (<http://news.livedoor.com/article/detail/15485466>; 2018年10月23日檢索)

디비피아 DBpia (<http://www.dbpia.co.kr/>)

학술연구정보서비스 RISS (www.riss.kr/)

【用例採集の教材】 (データベースの収録順、年度は各教材の最新号)

윤준호·박재욱(2010)『유형별·주제별로 똑똑하게 정리한 JPT 보카 한권으로 끝내기』 다락원(→보카)/이종권(2012)『JPT 답이 보이는 단어장』 YBM더텍스트(→단어장)/강성광(2015)『한권으로 끝내는 JPT VOCA 개정판』 YBM더텍스트(→한권)/강성광(2014)『일본어 어휘의 달인이 되는 법 최신개정판』 사람인(→달인)/JPT초고수위원회(2015)『시나공 일본어 VOCA 15000』 길벗이지톡(→시나공)/김기범(2012)『JLPT·JPT VOCA KING』 성안당(→KING)/서경원(2015)『JPT 점수를 확 올려주는 5가지 시험요령&30가지 급소포인트』 시사일본어사(→급소)/서경원·오유유키오(2015)『다다익선 JPT 독해 PART 5/6/7』 YBM더텍스트(→독해)/서경원(2013)『다다익선 JPT 독해 PART 8』 YBM더텍스트(→다다익선)/허윤정(2015)『JPT 정기시험 기출문제 1000』 YBM더텍스트(→기출10)/서경원(2013)『JPT 기출 2000 청해』 YBM일본어(→기출20청)/서경원(2015)『JPT 기출 2000 독해』 YBM더텍스트(→기출20독)/이장우(2014)『600점에 딱 맞춘 JPT』 사람인(→딱600)/이장우(2013)『800점에 딱 맞춘 JPT』 사람인(→딱800)/허윤정·최지연(2015)『JPT 답이 보이는 실전모의고사1』 YBM일본어(→실전)/오쿠무라 유지·임단비(2015)『NEW 일본어 단어장 N1 N2』 예스북(→NEW)/황미진(2012)『내 손안에 NEW JLPT 합격 단어장 N1-N2』 넥서스(→합격)/송규원·이윤혜(2015)『JLPT N1 단어장』 시사일본어사(→단어짱1)/김숙경·우선희(2015)『JLPT N2 단어장』 시사일본어사(→단어짱2)/신지윤·최민경(2015)『JLPT N3 단어장』 시사일본어사(→단어짱3)/김성곤(2016)『JLPT 한권으로 끝내기 보카』 다락원(→끝내기)/강석기·허윤정(2015)『한권으로 끝내는 JLPT VOCA N1·N2·N3』 YBM더텍스트(→VOCA)/이치우·北嶋千鶴子(2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N1/부록: 실전모의테스트 문제집』 다락원(→한권N1/한권실전N1)/이치우·北嶋千鶴子(2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N2/부록: 실전모의테스트 문제집』 다락원(→한권N2/한권실전N2)/이치우·北嶋千鶴子(2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N3/부록: 실전모의테스트 문제집』 다락원(→한권N3/한권실전N3)/이승대·주종관(2015)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N1/부록: 정답&해설집』 길벗이지톡(→완벽N1/완벽해설N1)/이신혜·스미유리카(2016)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N2/부록: 정답&해설집』 길벗이지톡(→완벽N2/완벽해설N2)/신선화(2016)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N3/부록: 정답&해설집』 길벗이지톡(→완벽N3/완벽해설N3)/이장우(2014)『N2 문자·어휘/문법 한번에 패스하기』 시사일본어사(→패스N2)/이장우(2012)『N3 문자·어휘/문법 한번에 패스하기』 시사일본어사(→패스N3)/이장우·高橋総(2015)『N1 독해 한번에 패스하기』 시사일본어사(→독해N1)/이장우·高橋総(2013)『N2 독해 한번에 패스하기』 시사일본어사(→독해N2)/이장우(2015)『N3 독해 한번에 패스하기』 시사일본어사(→독해N3)/이종권(2016)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N1』 다락원(→실전N1)/이종권(2016)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N2』 다락원(→실전N2)/이종권(2015)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N3』 다락원(→실전N3)/성윤아·노주현(2015)『일본어능력시험 N1 실전 모의고사 시즌2/부

록 : 정답&해설집』길벗이지톡(→모의N1/모의해설N1)/이신혜(2016) 『일본어능력시험 N2 실전 모의고사 시즌2/부록 : 정답&해설집』길벗이지톡(→모의N2/모의해설N2)/신선화(2016) 『일본어능력시험 N3 실전 모의고사 시즌2/부록 : 정답&해설집』길벗이지톡(→모의N3/모의해설N3)/高田敏子·権名誠·木下順二·星新一·那須正幹(2017) 『일한 대역문고 중급① 일본초등학교 5학년 국어교과서선』다락원(조주희·백송중訳註)(→5학년)/黒田三郎·高田桂子·那須正幹·立松和平·川村たか(2016) 『일한 대역문고 중급② 일본초등학교 6학년 국어교과서선』다락원(조주희·백송중訳註)(→6학년)/俵万智·竹内好·井上ひさし·宮沢賢治(2016) 『일한 대역문고 중급③ 일본중학교 교과서선(上)』다락원(최재철·조주희訳註)(→중학교 상)/宮沢賢治·太宰治·菊池寛(2012) 『일한 대역문고 중급④ 일본중학교 교과서선(下)』다락원(최중훈訳註)(→중학교 하)/宮沢賢治(2015) 『일한 대역문고 중급⑤ 미야자와 켄지의 주문 이 많은 요리집』다락원(이현정訳註)(→요리)/宮沢賢治(2012) 『일한 대역문고 중급⑥ 은하철도의 밤』다락원(고선윤訳註)(→은하철도)/群よこ(2013) 『일한 대역문고 중급⑦ 고양이 '비'의 이야기』다락원(조주희·백송중訳註)(→고양이)/생텍쥐페리(2017) 『일한 대역문고 중급⑧ 어린 왕자(上)』다락원(尾崎達治日訳·訳註)(→왕자 상)/생텍쥐페리(2016) 『일한 대역문고 중급⑧ 어린 왕자(下)』다락원(尾崎達治日訳·訳註)(→왕자 하)/알퐁스도데(2017) 『일한 대역문고 중급⑩ 마지막 수업』다락원(尾崎達治日訳·訳註)(→수업)/오쿠무라유지·임단비(2012) 『러브 스토리 일본어』다락원(→러브)/萩原朔太郎·横光利一·梶井基次郎·国木田独歩·坂口安吾(2014) 『일한 대역문고 고급① 일본고등학교 교과서선』다락원(최중훈訳註)(→교과서)/宮沢賢治(2012) 『일한 대역문고 고급② 미야자와 켄지의 첼로 켜는 고슈』다락원(남이숙訳註)(→첼로)/夏目漱石(2012) 『일한 대역문고 고급③ 도련님(上)』다락원(도승렬訳註)(→도련님 상)/夏目漱石(2015) 『일한 대역문고 고급④ 도련님(下)』다락원(안원실訳註)(→도련님 하)/夏目漱石(2017) 『일한 대역문고 고급⑤ 나는 고양이이다』다락원(조영석訳註)(→吾輩)/芥川竜之介(2014) 『일한 대역문고 고급⑥ 아쿠타가와 류노스케의 라쇼몽』다락원(남철희訳註)(→라쇼몽)/太宰治(2011) 『일한 대역문고 고급⑦ 다자이 오사무의 여학생』다락원(최중훈訳註)(→여학생)/芥川竜之介·太宰治·有島武郎·夏目漱石(2014) 『일한 대역문고 고급⑧ 근대명작단편소설선』다락원(송현순訳註)(→명작)/伊藤左千夫(2014) 『일한 대역문고 고급⑨ 들국화의 무덤』다락원(조주희·백송중訳註)(→들국화)/오 헨리(2009) 『일한 대역문고 고급⑩ 오·헨리 걸작선』다락원(大久保康雄日訳·송현아訳註)(→헨리)/二日市壮·小沢康則·吉本一·黒木了二·Watson Joy(2009) 『New 다락원 일본어 Step 6』다락원(→다락원)/斎藤仁志·深沢道子·酒井理恵子·中村雅子·吉本恵子(2016) 『シャドーイング 日本語を話そう·中～上級編』くろしお出版(→세도잉)/二日市壮·小沢康則·吉本一·泉千春·黒木了二(2009) 『New 다락원 일본어 Step 5』다락원(→다락원5)/가타지마 치즈코·구미라(2016) 『우키우키 일본어 독해 중급』넥서스(→우키 중)/가타지마 치즈코·구미라(2016) 『우키우키 일본어 독해 고급』넥서스(→우키 고)/이용진·한경미(2018) 『NHK 뉴스 3단계 집중전략』종합출판(→NHK)/김성경·다카쿠라 히로시·이재은(2016) 『귀에 쏙쏙 들어가는 New 스타일 일본어 청해 뉴스편』동양북스(→뉴스편)

【付録 : 「～込む」に関する研究文献一覧表】

姫野昌子(1978) 「複合動詞「～こむ」および内部移動を表す複合動詞類」 『日本語学校論集』5、東京外国語大学外国語学部附属日本語学校、pp.47-70.

- 金明淑(1995)「日本語 複合動詞 後項에 관한 考察—「～込む」를 中心으로—」『日本語文学』1、日本語文学会、pp.1-13.
- 甲斐朋子(1998)「複合動詞「～こむ」の分類とその用法」『国文研究』43、熊本県立大学、pp.98-112.
- _____ (1999)「複合動詞「～こむ」の程度深化の用法」『ポリグロシア』2、立命館大学言語教育センター、pp.1-8.
- 川口義一・李潤玉(2001)「語彙指導のための日本語複合動詞の意味研究—[動詞連用形+コム]を中心として—」『梅田博之教授 古稀記念 韓日語文学論叢』大学社、pp.943-983.
- 松田文子(2001a)「複合動詞後項「～こむ」の意味」『人間文化論叢』4、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科、pp.223-235.
- _____ (2001b)「コア図式を用いた複合動詞後項「～こむ」の認知意味論的説明」『日本語教育』111、日本語教育学会、pp.16-25.
- _____ (2002)「日本語学習者による複合動詞「～こむ」の習得」『世界の日本語教育』12、お茶の水女子大学、pp.43-62
- 梁慶模(2003)「「V-こむ」동사의 후항요소 「-こむ」의 의미에 관한 고찰—인지의미론적 관점에서—」『日本語学研究』7、韓国日本語学会、pp.61-75.
- 陳曦(2004)「中国人学習者における複合動詞の習得に関する一考察—「～あう」と「～こむ」の理解に基づいて—」『ことばの科学』17、名古屋大学言語文化研究会、pp.59-79.
- 諸貞熙・鄭世桓・上原聡(2005)「日本語の後項動詞「～こむ」についての一考察—韓国語との対照的な観点から—」『言語処理学会第11回年次大会発表論文集』言語処理学会、(CD-ROM 版所収)
- 諸貞熙・上原聡(2006)「程度進行を表す後項動詞「～こむ」に関する一考察—韓国語との対照的な観点から—」『言語処理学会第12回年次大会発表論文集』言語処理学会、pp.889-892.
- 陳曦(2007)「日本語複合動詞の習得状況と指導への問題提起—中国西安外国語大学における「～あう」「～こむ」の調査を中心に—」『国際開発研究フォーラム』35、名古屋大学大学院国際開発研究科、pp.93-102.
- 権泰花(2009)「複合動詞の意味分析と韓国語との対応関係—後項動詞「～こむ」を中心に—」『日本語文学』44、日本語文学会、pp.21-48.
- 松本曜(2009)「複合動詞「～込む」「～去る」「～出す」と語彙的複合動詞のタイプ」由本陽子・岸本秀樹編『語彙の意味と文法』くろしお出版、pp.175-194.
- 이경수(2010)「번역원전을 활용한 일본어복합동사표현의 연구—어휘적복합동사「込む」의 다양성을 중심으로—」『日本学報』82、韓国日本学会、pp.81-98.
- 李允昊(2010a)「初級日本語学習者のための複合動詞「～込む」の意味分類—コーパスに基づく計量的アプローチ—」『日本語学研究』29、韓国日本語学会、pp.191-211.
- _____ (2010b)「日本語作文調査に基づく韓国人日本語学習者の複合動詞「～込む」の運用能力について」『日本語教育』54、韓国日本語教育学会、pp.143-160.
- 李允昊・石川慎一郎(2010)「日本語学習者を対象にした「～込む」型複合動詞の主要語の選定」『統計数理研究所研究レポート：言語コーパス分析における数値データの統計的処理手法の検討』統計数理研究所、pp.49-65.
- 金光成(2010)「複合動詞の意味拡張とその認知的動機づけ—「V+こむ」を事例に—」『言語科学論集』16、京都大学大学院人間・環境学研究科言語科学講座、pp.25-42.

- 권태화(2011) 「복합동사 학습실태 조사 분석—일본어 복합동사 「~こむ」를 중심으로—」 『언어과학연구』 57, 언어과학회, pp.25-44.
- 金光成(2011) 「動的用法基盤モデルに基づく類義語の分析—複合動詞「V+込む」を事例に—」 『日本研究』 12, 부산대학교 일본연구소, pp.77-106
- 李允昊(2011) 「翻訳課題に見る韓国人学習者の日本語理解—「~込む」を中心に—」 『日本文化研究』 37, 동아시아 일본학회, pp.475-497.
- 王秀英(2012) 「日本語の複合動詞「~こむ」類と中国語の複合動詞“~进/入”類との対照研究—認知意味論からのアプローチ—」 『言語科学論集』 16, 東北大学大学院文学研究科言語科学専攻, pp.73-84.
- 睡俊秀(2012) 「「程度進行」の意味をもつ複合動詞「V1+こむ」の意味と構造に関する考察」 『コーパスに基づく言語学教育研究報告』 8, 東京外国語大学大学院総合国際学研究所, pp.185-208.
- 金光成(2013) 「主体化の観点からみた複合動詞の意味拡張—「V+こむ」を事例に—」 『日語日文学研究』 87-1, 韓国日語日文学会, pp.27-58.
- 山口昌也(2013) 「複合動詞「~込む」と前項動詞の格関係—「複合動詞用例データベース」を用いた分析—」 影山太郎編 『複合動詞研究の最先端—謎の解明に向けて—』 ひつじ書房, pp.185-212.
- 朴壩一(2014) 「イ形補助動詞「~こむ/-あう/-つく」文の統語構造」 『日本語文学』 60, 韓国日本語学会, pp.15-33.
- 金光成(2015) 「日本語複合動詞の用法に関する対照言語学的分析—「V+こむ」の事例分析を中心に—」 『日語日文学』 66, 大韓日語日文学会, pp.23-39
- 金光成(2016) 「日本語複合動詞の主観性とコロケーションに関する記述的研究—複合動詞「V+こむ」を事例に—」 『日本語学研究』 49, 韓国日本語学会, pp.3-23.
- 薛根洙(2016) 「複合動詞の研究—「移動動詞+込む」を中心に—」 『日本語教育研究』 34, 韓国日語教育学会, pp.79-93.
- 李潔(2017) 「複合動詞「~込む」について—日中対訳の観点から—」 『さいたま言語研究』 1, さいたま言語研究会, pp.28-37.
- 趙南星(2018) 「일본인 대학생의 복합동사 사용에 대한 설문 조사의 분석—~込む, ~切る ... 의 학습어휘 선정을 위하여—」 『日本文化學報』 77, 韓国日本文化学会, pp.293-312.(DOI: 10.21481/jbunka..77.201805.293)

논문 투고 일자 : 2019. 09. 28.

논문 심사 일자 : 2019. 11. 03

게재 확정 일자 : 2019. 11. 06

<要旨>

格パターンによる「～込む」の下位分類
— 韓国人学習者を念頭に置いた試み —

李忠奎

本稿は「～込む」を対象にして格パターンによる下位分類を試みたものである。まず、先行研究における高頻度のリストに本稿の頻度調査の結果を加え、55語の高頻度の「～込む」を新たに選定した。次に、その55語を対象に国立国語研究所の『複合動詞レキシコン』に収録されている各例の格パターンを確認し、ニ格とヲ格を取るか否かによって、1)「ガ」タイプ、2)「ガ・ヲ」タイプ、3)「ガ・ニ」タイプ、4)「ガ・ニ・ヲ」タイプに大別した。そして最後に、各タイプに属する具体例に韓国語訳と個別例ごとの特徴を付与した。

以上のような整理を通して、本稿では、1)高頻度の「～込む」、2)具体例の基本的な格パターン、3)個別例ごとの韓国語の第一訳、4)韓国語訳の多様性、5)具体例における個別の特徴が確認できることを示した。

Subclassification of '*~komu*(込む)' According to Its Case Patterns
— An attempt with Korean learners in mind —

Lee, Chung-Kyu

The purpose of this study is to subclassify '*~komu*' according to its case patterns.

The investigator selected 55 high-frequency examples of '*~komu*' based on the list of high-frequency '*~komu*' in previous studies and present study's survey results.

Each of the 55 examples was checked for its case patterns in the "Compound Verb Lexicon" (National Institute for Japanese Language and Linguistics); then, they were categorized into 1)ガ, 2)ガ・ヲ, 3)ガ・ニ, and 4)ガ・ニ・ヲ types.

Finally, the study discussed the corresponding forms in Korean and individual characteristics for specific examples in each type.

The analysis results are as follows: 1) examples of high-frequency '*~komu*' 2) case patterns of each example, 3) representative corresponding forms in Korean for each example, 4) diversity in the corresponding forms in Korean, and 5) individual characteristics of each example.